

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立大和川中学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校では、大きな学校崩壊を経験し、再建を期したことより、「秩序構築」の徹底を図り、教育環境の改善に邁進してきた。

「命を考える」教育活動を柱とした「平和維持学習」～自律する力と他者を尊重し、思いやる心の育成～を教育方針とし、特に1年生入学直後の宿泊オリエンテーションを通じ、「時を守り、場を清め、礼を正す」自主自律の精神の育成など、チーム大和川として教育活動を推進している。その結果、生徒の規範意識は飛躍的に高まり、令和7年度末の年度目標アンケートでは「学校のきまりや規則を守っている」の項目に対し、肯定的回答が98.5%に達するなど、本市が最重要目標に掲げる「安全・安心な教育環境」は確固たるものとなりつつある。

しかし、次なるステップである「自立した個の確立」においては依然として課題が残されている。令和7年度末の年度目標アンケートの「将来の夢や目標をもっている」の項目に対し、肯定的回答は68.2%と、改善はみられるものの依然として課題が残る状況である。また、昨年度末の行内調査における「家庭学習(宿題・予習・復習)をしている」の項目に対する肯定的回答は76.7%であり、基礎学力の向上に向けた「学びの主体性」の確立に充分ではない。

令和8年度より、定着した授業規律を基盤とし、本市の教育振興基本計画に掲げる3つの最重要目標を達成すべく、教育活動の充実を図る。特に「誰一人取り残さない学力の向上」に対しては、全学年での習熟度別授業やICT活用の高度化を図り、生徒一人ひとりが「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりを全教員で実践する。データに基づいたきめ細かな支援を行うことで、誰一人取り残さない学力向上を実現し、生徒には「自律的に未来を切り拓く力」を、教職員には「教える喜び」をもたらす、本市を牽引する最高の学びの場を構築していく。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- 一人ひとりの人権を大切にし、他者を尊重する心の育成を目指し、令和11年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する生徒の割合を95%にする。(R7:90%)
- 集団生活の中での自己の役割を認識させることで、令和11年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、最も肯定的に回答をする生徒の割合を85%以上にする。(R7:74.6%)
- 生徒一人ひとりに達成感を実感させることで、令和11年度末の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。(R7:82.6%)
- 生徒が自身の持つ長所や可能性に気づけるような教育活動を実践し、令和11年度末の年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を85%以上にする。(R7:74.1%)

### **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 習熟度別授業や Team teaching を全学年で展開するなど、個別最適な学びを充実させることやデジタルドリルやスタディサプリなどのデジタル教材を積極的に活用するなど、生徒一人ひとりの課題把握と授業改善を繰り返すことで、令和 11 年度の中学生チャレンジテストにおける、平均正答率の対府比（各教科）1.00 を達成する。
- 運動への興味・関心を高め、スポーツを楽しみながら、それと同時に体力を向上させる活動や取組みで、令和 11 年度の全国体力・運動能力調査における体力合計点の対全国比を、男女ともに 1.01 とする。

### **【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和 11 年度、年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 90% 以上とする。
- 令和 11 年度末、年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75% 以上にする。(R7:65.7%)
- 令和 11 年度末、平均時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。(R7:90%)
- 校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、最も肯定的に回答をする生徒の割合を75%以上にする。(R7:74.6%)
- 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。(R7:83.2%)
- 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。(R7:74.1%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。  
(R7:国語2年「53期生」1.02 1年「54期生」0.91)
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。  
(R7:数学2年「53期生」0.99 1年「54期生」0.93)
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を45%以上にする。(R7:42.9%)
- 年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。(R7:76.6%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上とする。
- 年度目標アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。(R7:65.7%)
- 令和8年度末、平均時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員を40%以下にする。(R7:50.00%)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪府立 大和川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。(R7:90%)</p> <p>○校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、最も肯定的に回答をする生徒の割合を75%以上にする。(R7:74.6%)</p> <p>○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。(R7:83.2%)</p> <p>○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。(R7:74.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号1、「いじめへの対応】</p> <p>いじめ・差別を許さない学校づくり。人権学習の年間計画を立て計画的に実践する。日々の心の天気の入力促進や見取り、また、いじめアンケート調査や生徒教育相談を定期的に行うと共に一人ひとりの生徒情報を共有し、共通理解を深め、適切な指導を進める。</p> <p>-----</p> <p>指標: 生徒教育相談・保護者懇談を各学期に実施し、いじめの正体の学習を系統的に取り組む。いじめアンケートを毎月実施し、検証する。年度末の校内調査において、学校が認知したいじめについては、解消に向けての対応率を100%にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号1、「不登校への対応】</p> <p>新たに不登校になる生徒をうまない学級や学年集団づくりを進める。家庭や関係諸機関との連携を深め、きめ細かい生徒指導を行う。</p> <p>-----</p> <p>指標: 毎週の主任会、学年会議や職員会議での生徒の情報共有を行う。SSWを中心としたケース会議(スクリーニングⅡ)を年3回以上行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号1、「安全教育の推進】</p> <p>年間指導計画にそって、防災・減災に関する授業(講話、説明、地域防災訓練への参加)や「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。学級活動や各教科横断での継続した防災学習に取り組む。</p> <p>-----</p> <p>指標: 火災、地震、津波を想定した避難訓練を年2回以上行い、教職員を対象とした救急救命講習(AEDを含む)を年1回実施する。</p>	

<p>取組内容④【基本的な方向番号2、「道徳教育・人権を尊重する教育の推進」】        全ての教育活動を通して、「人の立場にたって考え行動できる」人づくりを進める。年間35時間の道徳の時間を大切に活用する。読み物資料等を活用し、道徳授業づくりを進める。「命を考える」教育活動を柱とした平和維持学習に取組み、「自立する力、他者を意識し思いやる心」の育成を図る。</p>	
<p>指標：年度目標アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたい」の項目の肯定的な回答をする生徒の割合を98%以上にする。(R7:96.9%)</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向番号2、「キャリア教育の推進」】        キャリア教育として、職業講話（1年）、職場体験やSPトランプ（2年）、高校出前授業体験や面接講座（3年）で進路指導の充実を図る。また、社会体験として、ボランティア清掃（年1回以上）を実施する。</p>	
<p>指標：年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を70%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立 大和川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 (R7:国語2年「53期生」1.02 1年「54期生」0.91)</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 (R7:数学2年「53期生」0.99 1年「54期生」0.93)</p> <p>○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を 45%以上にする。(R7:42.9%)</p> <p>○<u>年度目標アンケート</u>における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 (R7:76.6%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4、「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>各教科で単元テストや小テストを活用実施し、学びの習得確認や振り返りを繰り返す行う。併せて、デジタルドリルやスタディサプリ等の活用で学習内容の定着につなげる。</p> <p>-----</p> <p>指標：年度目標アンケートにおいて、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、あらたな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。(R7:84.6%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号4、「理数教育の充実・英語教育の強化】</p> <p>習熟度別授業や Team teaching を活用するなど、習熟度レベル上位層の更なる伸長および、下位層の引きあげに向けた取り組みを行う。</p> <p>-----</p> <p>指標：年度末の校内調査における「授業はよくわかる」に対して、肯定的な回答をそれぞれ 90%以上にする。(R7.89.3%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号4、「体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <p>体力の保持増進のために基本的な生活習慣を身につけさせる。また、毎時間、補強運動を行わせ基礎体力を身につけさせる。</p> <p>-----</p> <p>指標：全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比が、男・女ともに 1.01 とする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立 大和川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○<u>年度目標アンケート</u>における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上とする。</p> <p>○<u>年度目標アンケート</u>における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。(R7:65.7%)</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を70%にする。(R7:60.7%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号6、「ICTを活用した教育の推進】</p> <p>授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕</p> <p>指標：心の天気やいじめアンケートの入力率、スタディ・サプリの活用率を前年度より向上する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号7、働き方改革の推進】</p> <p>「仕事と生活の両立支援プラン」等も踏まえ、性別に関係なく教職員が働きやすい環境づくりを行う。</p> <p>指標：教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を45時間以下にする。</p> <p>※参考（全市平均 R6：37 時間 31 分）</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号9、「学校図書館の活性化】</p> <p>朝読をはじめ、読書文化の継承と更なる推進を図る。(図書館、図書紹介、読書感想)</p> <p>指標：学校調査における、「学校図書館貸出冊数（生徒1人当たりの年間平均貸出冊数）を3冊以上にする。(R7:3.2冊)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	